

イブニングセミナー6

## 機器を用いた GSM・LUTS治療の実際

2023年 9月8日 **金**

17:40~18:40

第3会場 京成ホテルミラマーレ「スカイバンケット」



座長

医療法人 LEADING GIRLS 女性医療クリニックLUNAグループ 理事長  
/横浜市立大学大学院医学部泌尿器病態学講座 客員教授

関口 由紀 先生



医療法人社団幸真会 皆川クリニック 理事長

EV6-1

皆川 真吾 先生

尿失禁に対するHITS™高強度テスラ磁気  
刺激装置StarFormer®治療の効果



医療法人心鹿会 二宮レディースクリニック 理事長

EV6-2

二宮 典子 先生

ウィズレーザー時代の到来？  
泌尿器科医が知っておくべきGSM攻略方法



共催 第30回日本排尿機能学会・Fotona Japan株式会社・TMKメディカル株式会社

本セミナーで紹介の  
最新治療情報サイト



◆ インティマレーザー治療 ◆ 高強度テスラ磁気刺激HITS治療 ◆ お問い合わせ・文献資料請求

2023年9月8日(金) 17:40-18:40 第3会場 京成ホテルミラマーレ

## イブニングセミナー 6 機器を用いたGSM・LUTS治療の実際

座長 関口 由紀 先生

医療法人 LEADING GIRLS 女性医療クリニックLUNAグループ 理事長

### EV6-1 尿失禁に対するHITS™高強度テスラ磁気刺激装置StarFormer®治療の効果

医療法人社団幸真会 皆川クリニック 理事長 皆川 真吾 先生

尿失禁は男女問わずQuality of Life(QOL)を大きく損なう症状であり、特に女性は年代を問わず60%程度の割合で何らかの失禁を経験している。過活動膀胱に伴う失禁には主にβ3作動薬や抗コリン薬による内服治療やボツリヌス毒素膀胱壁内注入療法が保険適応治療として一般的である。また女性の腹圧性尿失禁にはクレンブテロールが唯一の保険適応薬であり、改善されない場合はメッシュを用いたスリング手術などが保険適応治療である。一方で内服薬による副作用や、メッシュ手術に伴う合併症が問題である。HITS™(High Intensity Tesla magnetic Stimulation)高強度テスラ磁気刺激装置StarFormer®は最大2.5テスラの磁気強度で骨盤底と腰仙骨部を刺激することで骨盤底筋トレーニングと神経変調療法の効果を発揮する。StarFormer®の磁気刺激はEMS機器による電気刺激と異なり、深部まで刺激が伝わるため骨盤内の血流増加を促す。また、着衣のまま座るだけという簡便さと合併症の少なさが大きな利点であり、良好な治療成績が示されている。日本国内では自費診療となることが唯一の難点であるが、低侵襲で簡便に尿失禁治療が可能となり、神経変調療法効果による過活動膀胱症状の軽快や、その他便失禁や慢性前立腺炎、慢性骨盤痛症候群、ED改善などさまざまな効果が示されている。さらに、腰筋群や殿筋群、大腿筋等を鍛えることが可能であり、フレイル予防効果も期待できる。当院でのStarFormer®治療の経験と主に尿失禁治療の成績について解説する。

皆川 真吾(みながわ・しんご) 先生 医学博士 日本泌尿器科学会専門医・指導医

2001年 秋田大学医学部 泌尿器科	2004年 虎ノ門病院 泌尿器科
2006年 NTT東日本関東病院 泌尿器科	2009年 聖路加国際病院 泌尿器科
2012年 東京腎泌尿器センター大和病院 泌尿器科	2014年 行徳総合病院 泌尿器科
2020年 医療法人幸真会 皆川クリニックを開設 Fotona インティマレーザーを導入	2021年 Fotona スターフォーマープロを導入

### EV6-2 ウィズレーザー時代の到来？泌尿器科医が知っておくべきGSM攻略方法

医療法人心鹿会 ニ宮レディースクリニック 理事長 ニ宮 典子 先生

泌尿器科医の仕事とは『排尿トラブルを抱えた患者を診療すること』であるにも関わらず、女性患者の排尿トラブルに関する診療は苦手だ、と感じている泌尿器科医は多くいます。

かつての私もそうでした。偏見かもしれませんが、女性は男性に比較して、診察時間が長くかかります。なぜなら女性は話が好きだからです。さらに、抗コリン剤や抗生剤などを適切に投薬しても、患者は頻尿や膀胱炎が治らないと訴えることもあります。そうすると、さらに話が長くなるのです。外来で私の頭を悩ませていたのは、がんや結石の治療方針よりも、そういった『うまく治せない排尿トラブル』を抱えた女性患者の診療だったのかもしれない。これらの苦手患者の多くが、Genitourinary Syndrome of Menopause (GSM)という疾患だったと私が気づいたのは、2014年のGSM提唱後、さらに2年ほどの歳月が経った頃でした。

GSMという疾患概念のおかげで更年期女性に見られる外性器の年齢的变化とそれに付随する性器・尿路症状は治療対象となりました。そして、GSM治療のひとつであるレーザーによって劇的な治療効果を得ることができるようになり、苦手だった女性患者の診療が得意になりました。もはや時代はレーザーのない頃には戻れなくなっています。

今回の講演では、泌尿器科がよく遭遇する女性患者の下部尿路トラブルに焦点を当て、どのように診断・治療を行なっていくのか、演者の治療データをもとにお話したいと思います。特にGSMの診断で最も重要なことのひとつ、患者とのコミュニケーション方法についてお話します。限られた診察時間にポイントを押さえた対話で、個々の患者の状況に合わせた治療計画を立案する方法をお伝えします。

さらに、どのような患者にどんなレーザー(またはエネルギーデバイス)を用いるのが適切であるのかというポイントもお話します。特に、身体診察技術に基づいたアセスメントを行うことの重要性、外観の視覚的評価や触診による評価方法に焦点を当ててお伝えします。

ウィズレーザー時代の泌尿器科医に求められる2つの重要な能力、①コミュニケーション能力と②身体診察技術能力を理解し、GSM女性患者を攻略しましょう。

ニ宮 典子(にのみや・のりこ) 先生 日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本性機能学会専門医、日本東洋医学学会専門医(漢方専門医)

2005年 香川大学卒業、卒業2年間 臨床研修医	2007年 大阪市立大学大学院医学研究科泌尿器病態学に入局、関連施設にて泌尿器科従事
2015年 女性医療クリニックLUNA心斎橋開院、院長就任	2020年 株式会社コソカ女性医療研究所設立 取締役就任
2020年 女性のための病院では聞けない情報を発信する『コソカ診療所』チャンネル開設 現在、登録者35000人	
2021年 ニ宮レディースクリニック開院 院長就任	2023年 医療法人心鹿会設立 理事長就任